

《商工会議所ではそろばんをはじめ各種検定試験を行っています》

始めよう！！そろばん



そろばん学習は基礎学習としての実効性が認められ、
今までの小学校3年生必修から、3・4年生必修となりました。
昔から習い事は読み・書き・そろばんと言われ、頭の柔らかい
子どもの時に身につけることで、下の6つの力が養われます。
この機会にそろばんを学んでみませんか？



そろばんで培われる6つの力

注意深く観察する力

ミスが許されないトレーニングを繰り返していると、集中力と同時に、数字を注意深く読みとる能力が高まってきます。注意深く数字を読みとるトレーニングが洞察力の原点になります。

イメージやヒラメキの力

問題解決・発明などのヒラメキは右脳から発生すると言われており、問題解決の思考回路を最短距離で結ぶ「脳力」が開発されます。また、指先トレーニングが新しいシステムを生み出す発想力は「脳力」を育てます。

記憶する力

暗算には珠算式暗算（右脳使用）と算数式暗算（左脳使用）とがあります。珠算式暗算は右脳で処理した答えのパターン記憶を行います。このトレーニングは直観像として長く記憶にとどまります。

集中する力

そろばんの検定試験は制限時間に規定問題数を正解しなければならぬため一度のミスも許されません。「指先は外に出た脳」と言われるように、指先トレーニングによって脳を育てることに役立ちます。

情報を処理する力

数字をミスなしに速く読みとり、右脳で秒速処理を行い、左脳で正確な数字情報に変換するので、情報処理能力を育てることができます。数字処理能力と文字処理能力は将来の為に子ども時代に身につけたい能力のひとつです。

速く聞き・早く読む力

そろばんトレーニングの中には「読上算」という種目があり、読み手が読み上げる問題を即座に聞き取り、正しく処理する学習法があります。「速く聴き取る力」、数字をブロックごとに速く読み取り処理する「速く読む力」を育てます。

お問い合わせは・・・

岡谷珠算連盟事務局（岡谷商工会議所内）

TEL 0266-23-2345

<http://www.okayacci.or.jp/jigyou/cat178/>

岡谷商工会議所

検索